

## ミャンマーの子どもたちに、勉強できる喜びを 12/8（月）ミャンマー学校建設支援募金贈呈式を実施

一般財団法人イオンワンパーセントクラブ（以下、当財団）は12月8日（月）、全国からお寄せいただいた「ミャンマー学校建設支援募金」に当財団より同額をあわせた75,657,610円を、公益財団法人日本ユニセフ協会（以下、協会）へ贈呈し、ミャンマー連邦共和国（以下、ミャンマー）での学校建設を支援します。

当財団は、平和な社会の実現には基礎教育の充実が不可欠であるという想いのもと、2000年より教育施設が不足するアジア地域で学校建設支援事業を開始し、これまでにカンボジア、ネパール、ラオス、ベトナム、ミャンマーで計377校を建設支援してきました。

ミャンマーでは、教育環境の整備の遅れが大きな課題となっており、老朽化した校舎、学用品や教員の不足など、多くの子どもたちが通常の基礎教育を受けられない状況にあります。当財団は、ミャンマーの子どもたちがよりよい環境で勉強ができるよう、協会とのパートナーシップのもと2012年より3ヵ年計画で30校の学校建設支援を進め、毎年募金を実施しています。今年は9月13日（土）～11月16日（日）の期間に実施し、全国から37,828,805円をお寄せいただきました。当財団は、この募金額に同額を上乗せ（マッチング）した金額を協会へ贈呈し、学校建設支援にご活用いただきます。

贈呈式では、今年度の開校式にご参加いただいた歌手・女優の由紀さおりさま、声楽家の安田祥子さま、アテネオリンピック体操金メダリストの水鳥寿思さま、ロンドンオリンピック新体操日本代表の田中琴乃さまにご出席いただく予定です。

ミャンマーでは、これまでに20校の建設が完了し、このたびの支援金を通じて新たに10校の小学校が建設されます。

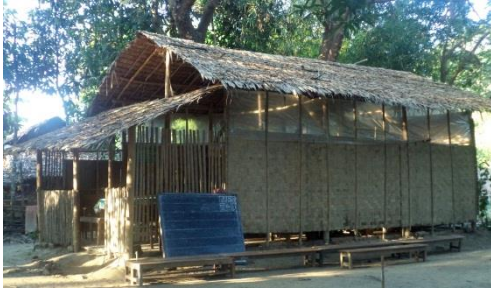
当財団はこれからも、次代を担う子どもたちの健全な育成を支援していくために、さまざまな取り組みを行ってまいります。

### 【ミャンマー学校建設支援募金贈呈式について】

1. 日 時：2014年12月8日（月）14時～15時
2. 場 所：公益財団法人日本ユニセフ協会 ユニセフハウス 2階会議室  
（東京都港区高輪4-6-12）
3. 出席者：駐日ミャンマー連邦共和国大使館 経済参事官 シヅ ヱー 様  
外務省アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第一課課長 岩本 桂一 様  
歌手・女優 由紀 さおり様  
声楽家 安田 祥子 様  
アテネオリンピック体操金メダリスト 水鳥 寿思 様  
ロンドンオリンピック新体操日本代表 田中 琴乃 様  
公益財団法人日本ユニセフ協会専務理事 早水 研 様  
（一財）イオン1%クラブ副理事長 イオン株式会社取締役会議長 横尾 博
4. 寄付先：公益財団法人日本ユニセフ協会
5. 寄付額：75,657,610円  
※募金実施期間：2014年9月13日（土）～11月16日（日）  
※内 訳：募金 37,828,805円  
当財団 37,828,805円

**ご参考** ミャンマーでの取り組みについて

**【学校建設支援事業】**



ミャンマーに残るわらぶき屋根でできた校舎



新校舎（イオン マホガニースクール）

**【災害緊急支援】**

2008年に発生したミャンマー中南部での大型サイクロン被害への緊急支援金として、在日本ミャンマー連邦共和国大使館へ緊急災害復興支援金1,000万円を、さらに被災地へ蚊帳などの支援物資を届けました。

**【ティーンエイジ・アンバサダー事業】**

アジア各国の高校生が相手国の文化や歴史に触れ、相互理解を深めるティーンエイジ・アンバサダー事業を2013年に実施しました。日本の沖縄尚学高校生20名とミャンマーのダゴン高校、カミュ高校の学生20名、計40人が相手国を相互訪問し、授業体験やホームステイを通じて友好を深めました。



在日ミャンマー大使館での歓迎会



ミャンマーの高校生の自宅にホームステイ

**【イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン】**

アジアの子どもたちへ安全な水を届けるために、全国からお寄せいただいた募金に当財団からほぼ同額拠出金を合わせ、公益財団法人日本ユニセフ協会、ミャンマーユニセフを通じて支援をしています。この取り組みを今年度よりミャンマーで開始し、子どもたちが暮らす町や村に給水施設を設置することで、年間約15,000人の方々がきれいな水を利用できるようになります。

**【イオン スカラシップ】**

「イオン スカラシップ」は、次代を担うアジアの大学生・大学院生の夢の実現に向けて、学業支援を目的に2006年より実施しています。今年度より新たにミャンマーが加わり、アジア7カ国で支援の輪を広げています。

**【植樹活動】**

当財団が支援する公益財団法人イオン環境財団は、2013年よりミャンマー環境保全森林省とともに「ミャンマー ヤンゴン植樹」に取り組んでいます。3カ年で20,000本を目標に、ヤンゴン市郊外にあるフージー湖周辺の森林の再生、水源涵養機能の回復をめざします。1年目は500人のボランティアの方々と6,000本を、今年7月には1,000人のボランティアの方々と8,000本の木を植えました。